

令和3年6月1日 発行
(株) ニーノコーポレーション
扶桑町大字齊藤字緑223
(0587) 93-7833

『新人職員紹介』

私は短期大学（保育専攻）を卒業し、新人介護職員として入社し、初めて仕事として介護をしました。初めてだった為、認知症とはどのような症状の方がいるのかという事も分からず入社しました。ですが、先輩職員がとても丁寧に対応の仕方を教えて下さった事により、少しずつ認知症という事を理解することができました。まだまだ上手く出来ない為、先輩職員の姿をしっかり見て、より良い介護ができるようになりたいと思っています。

また、利用者の方が楽しい日々を送れるように、レクリエーションでピアノ伴奏に合わせて歌を唄ったり、コミュニケーションをたくさん取り、利用者の方が笑って過ごせるように頑張りたいと思っています。

ははえくぼ江南南館 新人職員 K.Y



『今年のお花見』

今年のお花見も残念ながらコロナウイルス感染予防の観点から、全員揃ってのお花見はできませんでしたが、少人数で近くの魚入神社に出掛け満開の桜を下から見上げたり、記念撮影をしたりして短い春を満喫しました。

来年こそは、全員揃ってお花見を楽しめる事を切に願います。



『笑う門には福来る』

このことわざは誰も一度は聞いたことがあるのではと思います。「いつも笑い声が満ち溢れている家には自然と幸福が巡ってくるもの」という意味だそうです。でも、人生色々ある。。そんなにいつもいつも笑ってられない。。そんな時は笑いたい気分ではなくても大きな声を出して「ワッハッハー」とわざと笑ってみましょう。「ニセ笑い」で良いのだそうです。すると、脳は本当に笑っていると勘違いをしてリラックス作用が高まったり、脳の働きが活性化したり、自律神経まで整うのだそうです。また、幸福感が高まったり鎮痛作用もあるのだとか。もう良い事しかないですね。

はなえくぼ江南でも利用者さんの幸福感が高まるように毎日の体操の時間に大きな声を出して「ワッハッハー」と笑ってみたいと思います。皆さんも騙されたと思ってぜひやってみてください



『季節の恵』

利用者さんのご近所の方から頂いたイチゴの苗をプランターに植えたところ、沢山の実がなり、散歩へ行くついでにイチゴ狩りを楽しむ日々でした。少し小ぶりながらもとても甘く、利用者さんには大好評でした。はなえくぼ江南の畑には初お目見えのそら豆が沢山できました。「手が痛なる～」と言いながら分厚い皮を一生懸命にむいてくださった利用者さんのおかげで、美味しい塩ゆでやそら豆ご飯を頂くことができました。季節の美味しい食材を頂ける事はとてもありがたく幸せな事だなとつくづく感じました。

畑にはナスやとうもろこしなどの夏野菜の苗が植えられました。沢山収穫でき、また季節の恵を頂ける事を首を長くして待ちたいと思います。



『気持ちに寄り添う対応を』

認知症ケアを紐解いていくうちに「パーソンセンタードケア」という言葉に出会います。パーソンセンタードケアは直訳すれば「人が中心のケア」ですが、多くは認知症をもつ人を1人の人として尊重し、その人の立場に立って考える認知症ケアと解説されています。「なんて素晴らしいことなんだ！！」と心が震え、早速実践しよう！！と思ったあなた、ちょっと待って下さい。確かに認知症を持つ人当人のこと考える時にはこの考え方は非常に有効ですし、実際に利用しています。ではなぜちょっと待てなのか、そこに介護者の出来る事の限界が考慮されていないからです。介護者の限界を超えると介護の現場は崩壊してしまいます。当人に必要なことは当人の立場から考え出し、その内の何が実際には可能なケアなのかは介護者の立場からも判断し、お互いのバランスを取り、WIN-WINな関係を継続させることが大切です。認知症を持つ人とそこに関わる人たちがともに良い状態にいることがパーソンセンタードケア、人が中心のケアだと思います。

ご見学随時受付いたしております。お気軽にお問い合わせください。

今回は、はなえくぼ扶桑便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398

(0587) 91-0110

グループホームはなえくぼひくみ

犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1

(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小机町長者毛西132番地

(0587) 52-3808

はなえくぼのホームページ

www.gh-hanaekubo.com

ブログも時々更新しています